

平成 30 年 9 月 4 日

各 位

会 社 名	株式会社エス・ディー・エス バイオテック
代表者名	代表取締役社長 高橋 順一 (コード：4952、東証第二部)
問合せ先	理事管理部長 深澤 良彦 (TEL. 03-5825-5511)

### 横浜工場原体製造設備稼働再開の見込み及び特別損失計上の見通しについて

平成 30 年 2 月 12 日に発生した当社横浜工場における爆発・火災事故につきまして、お亡くなりになりました協力会社の方 1 名のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様に対し心よりお悔やみ申し上げます。また、本件に関して関係官庁はじめ、近隣の皆様、お取引先様には、ご迷惑とご心配をおかけしておりますこと、深くお詫び申し上げます。

本事故の発生を受けまして、当社では、事故原因の究明および再発防止策を策定する目的として 2 月 23 日に、社外の学識経験者および専門家を中心に構成される「事故調査委員会」を設置しました。

同委員会は、約 4 ヶ月間にわたり、現地調査、各種実験等の実施、その解析結果についての検証を進め、このたび事故発生に至る要因および再発防止対策の提言が最終報告として取りまとめられました。事故調査委員会の最終報告書については、当社ホームページ 6 月 19 日掲載の「横浜工場爆発・火災事故に関する事故調査委員会による最終報告書の開示について」をご参照ください。

横浜工場原体製造設備につきましては、事故後、稼働を停止しておりましたが、再発防止策の提言を踏まえた再建計画の立案を進め、このたび、稼働再開の見込み及び休止期間中の固定費に関する特別損失計上の見通しが判明したため、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 原体製造設備稼働再開の見込みについて

本年 8 月より再建工事を開始し、平成 31 年 2 月より試運転を開始する予定です。

なお、稼働再開時期については、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、工事の進捗等のさまざまな要因の変化により、再開時期は変更となる可能性があります。稼働再開時期の変更により、当社業績に重要な影響を与えると判断された場合には速やかにお知らせいたします。

#### 2. 特別損失計上の見通し

平成 30 年 4 月～平成 31 年 1 月までの休止期間中の固定費 360 百万円（休止期間中の固定費は四半期ごとに計上され、平成 31 年 3 月期第 1 四半期において 89 百万円を計上しております。）を火災損失として特別損失に計上予定です。休止期間中の固定費とは、横浜工場原体製造に関連する労務費及び減価償却費等の経費です。

本爆発・火災事故に関わる保険金収入や修繕費用等につきましては現在精査中であり、当社業績に重要な影響を与えると判断された場合には速やかにお知らせいたします。

#### 3. 平成 31 年 3 月期の業績予想（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

平成 31 年 3 月期の業績予想につきましては、平成 30 年 2 月 12 日に発生した当社横浜工場における爆発・火災事故の影響を精査中であり、業績に影響を与える未確定な要素が多いため、合理的に見積もることが困難な状況です。

当社横浜工場の爆発・火災事故影響の精査が完了し、合理的な見積もりが可能となった時点で、業績予想を開示します。

以 上